

2014年8月4日

各位

## 積水ハウス株式会社

### 「第8回キッズデザイン賞」子育て世帯応援タウンなどで 経済産業大臣賞、消費者担当大臣賞、キッズデザイン協議会会長賞の上位賞3賞を受賞

8月4日(月)、キッズデザイン協議会(内閣府認証NPO 本部:東京都港区)主催の子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つデザインを顕彰する「第8回キッズデザイン賞」において、全受賞作品272点の中から上位賞が発表されました。積水ハウス株式会社は、優秀賞で経済産業大臣賞と消費者担当大臣賞、奨励賞でキッズデザイン協議会会長賞を受賞いたしました。



各上位賞受賞作品につきましては、以下のとおりです。

受賞賞		作品名
優秀賞	経済産業大臣賞	子どもの生きる力を育むまち 子育て世帯応援タウン ～ニッケガーデンコート花水木～
優秀賞	消費者担当大臣賞	子どもの生きる力をはぐくむ「弁当の日」応援プロジェクト
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞	震災で得た教訓を生かした子どもと女性にやさしい「おりひめトレ」

なお、当社は上記3作品を含め、今般の「第8回キッズデザイン賞」において6部門6点でキッズデザイン賞を受賞しており、賞の創設以来8年連続で受賞した事になります。

#### 【優秀賞 経済産業大臣賞】

子ども視点の安全・安心デザイン 子ども部門

#### 子どもの生きる力を育むまち 子育て世帯応援タウン～ニッケガーデンコート花水木～

「ニッケガーデンコート花水木」(所在地:愛知県一宮市)は、子育て世帯をサポートし、安全安心に生活できる「子育て」「子育て」「スマートユニバーサルデザイン」に配慮した賃貸住宅で構成された90世帯のまち、子育て世帯を応援するシャーマンズタウンです。(2014年3月竣工)

住戸から目が届く配置でコミュニティハウスやバーベキューコーナー等を配置することで、同世代の活発なコミュニティが生まれています。それにより、まちの皆が顔見知りになることで、目に見えないタウンセキュリティとなり、防犯性を高めることにも貢献しています。

建物性能では、最新の防犯仕様や防音仕様、空気環境への配慮等、母親の育児ストレスを軽減するアイテムが随所に盛り込まれています。周辺に公園がなかったため、敷地を地域に開放することで、地域の子どもたちが安心して遊べる場とし、4つの中庭を囲むように棟を配置することで、建物内からも子どもを見守ることができます。



#### ■審査評

子ども目線の安全設計や子育て支援仕様を賃貸住宅において標準化し、お金のかかる子育て層に向けた住まい提案の先進モデルとして評価した。実際の住まい手には情報交換や互いの預け合いなど子育てコミュニティとしての多様な効果も盛り込まれており、今後の展開の可能性を感じる。

## 【優秀賞 消費者担当大臣賞】

未来を担う消費者デザイン部門

### 子どもの生きる力をはぐくむ「弁当の日」応援プロジェクト(※)

(※)「弁当の日」応援プロジェクトとして応募【事務局:㈱共同通信社、参加:積水ハウス(株)、キッコーマン(株)、クリナップ(株)、住友生命保険相互会社、全国農業協同組合連合会、東京ガス(株)、ハウス食品グループ本社(株)、はごろもフーズ(株)】

2001年、香川県の小学校で竹下和男校長(当時)が始めた「弁当の日」。弁当の献立づくりから、買い出し、調理、片付けまで、親は一切手伝わず、すべて子どもたち自身が行う取り組みです。弁当づくりを通じて、“食の大切さ”“作る楽しさ”“作ってもらって感謝の気持ち”を創出し、子どもの感性、生きる力を育てていくことを目指しています。

「弁当の日」応援プロジェクトは、この広報・普及・啓発活動の推進とその取り組みを側面からサポートすることを目的として2012年4月に発足、全国各地で開催する学校の取り組みを支えています。また参加企業での自社ノウハウと融合した独自の「弁当の日」イベントも推進しています。



「弁当の日」HP

<http://d.hatena.ne.jp/bentounohi/>

#### ■審査評

13年前に香川県の小学校から始まり、現在では全国1400校で実施されている「弁当の日」は、子どもが食品を自ら選び、調理し、後片付けをすることで、「生産・消費・廃棄」のサイクルを自立的に体験でき、健全な消費者育成につながるものとする。弁当というテーマを通じて多様な気づきを促す意義深いプログラムであり、企業が自社リソースを提供しながらその拡大浸透へ貢献している点を高く評価した。

## 【奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞】

復興支援デザイン部門

### 震災で得た教訓を生かした 子どもと女性にやさしい「おりひめトイレ」

日常生活においてトイレは必要不可欠な設備ですが、災害発生時でも変わりはありません。東日本大震災の被災者に被災当時不便だったことをヒアリングしたところ、汚い・臭い・怖い・暗い・壊れているなど、「トイレ」に対する不満の声が多く聞かれました。そして、「使いにくい・音もれへの不安・気持ちが萎える」等、女性固有の不安・不満要素もあります。

こうした不安や不満要素から、子どもや女性がトイレの利用を控え健康被害を引き起こす可能性があります。また、親子での外出そのものを控えてしまい、子どもの社会経験や体験機会が減ることも考えられます。さらに、政府は建設業での女性就労者を倍増させる方針を打ち出しており、その環境整備の一つにトイレの整備も盛り込まれるなど、女性の社会進出を後押しする「トイレ」は重要な設備です。

「おりひめトイレ」は、これらの課題を解決するため、震災で得た教訓を生かして、子どもや女性にやさしく、使いやすい新たな視点で開発した仮設トイレです。仙台市、仙台市のクリエイター、積水ハウスの女性技術陣がコラボして取り組んだ事業となります。



#### ■審査評

子育て支援の視点からリ・デザインした仮設トイレの提案で、子連れでの外出時の不安や不満の解消に貢献する。災害時やイベント時におけるスタンダードな空間として社会に浸透することを期待したい。

## ＜参考情報＞

積水ハウスは「キッズデザイン賞」を8年連続受賞  
「第8回キッズデザイン賞」では、6部門6点で受賞

今回は上位賞の発表ですが、7月4日にキッズデザイン協議会から「第8回キッズデザイン賞」受賞作品が発表されました。

積水ハウスの受賞は以下の通り、6部門6点で受賞することができました。  
「キッズデザイン賞」の創設以来、8年連続で受賞しています。

### ＜子ども視点の安全・安心デザイン＞

#### 子ども部門

- ☆ 子どもの生きる力を育むまち 子育て世帯応援タウン～ニッケガーデンコート花水木～  
(所在地:愛知県一宮市)

#### 一般部門

- ☆ 健やかな生活を実現する 空気環境配慮仕様「エアキス」

### ＜子どもの未来デザイン＞

#### 感性・創造性部門

- ☆ 子どもの生きる力を育む家「コドモイドコロ」の実践

### ＜子どもの産み育て支援デザイン＞

#### 個人・家庭部門

- ☆ 安全安心で楽しい子育ての分譲マンション:グランドメゾン/ライフスタイルオプション

### ＜未来を担う消費者デザイン部門＞

- ☆ 子どもの生きる力をはぐくむ「弁当の日」応援プロジェクト

### ＜復興支援デザイン部門＞

- ☆ 震災で得た教訓を生かした 子どもと女性にやさしい「おりひめトイレ」

## ＜企画展のご案内＞

### ○積水ハウスのキッズでざいん「子どもの生きる力を育む住まいづくり展」

積水ハウスの情報受発信・研究開発拠点「住ムフムラボ」にて、これまでの「キッズデザイン賞」受賞作品の数々を公開します。全54点の受賞作品の中から、今回の第8回受賞作品を含めて21点を、パネル、模型、映像で展示。子どもの生きる力を育む住まいづくり、住環境づくりのヒントについて、普段広く公開していないノウハウを含めてご覧いただけます。

日時 : 8月9日(土)～31日(日)  
場所 : 住ムフムラボ(グランフロント大阪 北館4階)  
TEL : 06-6485-7590  
開館時間 : 10:00～19:00(入館無料・予約不要)  
定休日: 水曜日・年末年始

